禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D15

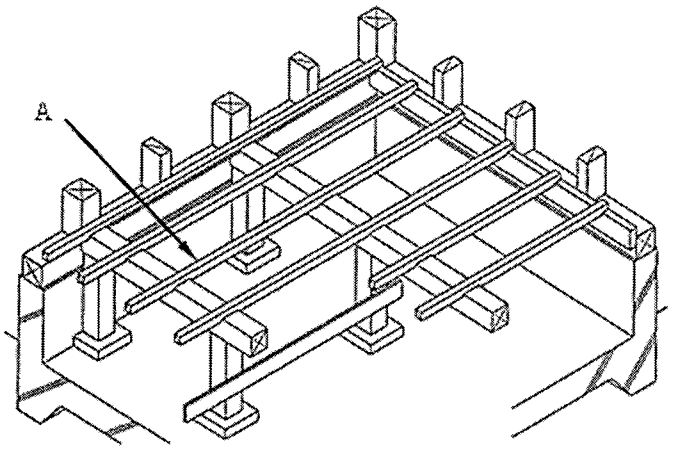
「中央職業能力開発協会編」

令和5年度 技能検定
3級 建築大工 学科試験問題
(大工工事作業)

1. 試験時間　1時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
      イ. 一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ハ. 答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　木造建築物は、基礎、土台、柱、はり、小屋組等で構築されている。

2　次図に示す床組の部材Aは、大引きである。



3　屋根の積載荷重は、たる木→母屋→小屋束→小屋ばり→桁→柱→土台→基礎→地盤へと伝えられる。

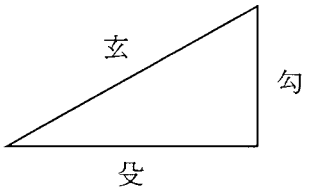
4　幅木は、天井と壁を見切る材料である。

5　管柱とは、2階建て以上の木造建築物に使用する柱で、各階に建てる柱をいう。

6　木造建築物において、圧縮力を負担する筋かいは、直径9mmの丸鋼がよい。

7　勾、殳、玄の基本図において、長玄・短玄・中勾が等しいときの勾配は、返し勾配となる。

8　平勾配は、殳／勾で求められる。



9　さしがねでは、勾配線を描くことはできない。

10　一般に、さしがねの幅は、15mmである。

11　電動丸のこ盤で木材を切断する場合は、刃を木材に当ててからスイッチを入れるとよい。

12　のこ歯のあさり幅は、のこ身の厚さと同じである。

13　両歯のこぎりは、のこ身の両端に、それぞれ横挽きと縦挽き用の歯を付けたのこぎりである。

14　遣方とは、建物の水平基準、位置等を表すものである。

15　コンクリートに埋め込むアンカーボルトは、一般に、φ12mm以上で埋込み長さは、250mm以上とする。

16　基礎コンクリートの打込み終了後は、直射日光、寒気、風雨などを避けるため、シートなどを用いて養生する。

17　一般に、仮筋かいは、建て入れのゆがみ直しを行ってから、取り付けるとよい。

18　クッションフロア(CF)を張る場合、一般に、床下地合板の厚さは、12mm以上にするとよい。

19　建て方時の仮筋かい止めは、できるだけ左右対称に止めるのがよい。

20　一般に、床下の根がらみは、床束の側面にくぎで打ち付ける。

21　木構造において、床根太の継手位置は、一列とならないよう互い違いに継ぐとよい。

22　構造部材の欠取り部分は、できるだけ多くなるように加工するとよい。

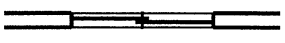
23　外壁材のシーリング作業では、シーリング材を充填し、仕上げをした後、速やかに養生テープを剥がさなければならない。

24　木材の一般的な性質として、同一乾燥状態では、比重が大きい材料の方が圧縮強度が大きい。

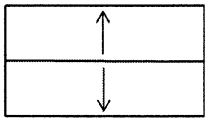
25　木材の一般的な性質で、辺材は、心材と比べて乾燥に伴う収縮が大きい。

26　集成材には、造作用、構造用等の用途に応じた区別はない。

27　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、引違い窓を表す平面表示記号である。



28　次図の屋根伏図は、寄棟屋根である。



29　労働安全衛生法関係法令によれば、手押しかんな盤は、加工に邪魔な場合は刃の接触予防装置を設けなくてよい。

30　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、3m以上の高所から物体を投下する場合は、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない。